

2025年2月19日

2026年（令和8）カーボンブラック需要見通し

1月23日内閣府発表の2026年度(R8年度)経済見通しによると、個人消費や設備投資等の国内需要中心の経済成長となることが期待され、実質GDP成長率は1.3%程度、名目で3.4%程度を見込んでいる。（前年2025年度見込み 実質GDP成長率1.1%、名目4.2%）

物価上昇とそれを上回る持続的な賃金上昇が実現する「成長型経済」への転換、また将来世代への責任を果たす「責任ある積極財政」の考え方の下、経済財政政策を行う。官民が力を合わせ「危機管理投資」と「成長投資」を進めて社会課題を解決し、暮らしの安全・安心を確保するとともに、雇用と所得を増やし、潜在成長力を引き上げ、「強い経済」を実現していくとしている。

一方、IMFは1月19日発表した最新の世界経済見通し（WEO）で、今年の世界の成長率を3.3%と予測し、昨年10月に公表した3.1%予測から小幅上方改定した。テクノロジーへの投資、財政・金融支援、緩和的な金融環境、民間部門の適応力が、貿易政策の転換による影響を相殺した。主な下振れリスクは、テクノロジーに関する期待の再評価と、地政学的緊張の高まりである。

地域別に見ると、米国経済は個人消費と設備投資の底堅さを背景に成長率が上方修正されている。特に、インフラや半導体関連を含む戦略産業への投資が引き続き景気に寄与。

新興国経済についても、インフレの沈静化や関税政策の落ち着きを背景に、従来予想よりも上振れする成長見通しが示されている。地政学的リスクなど不透明感は依然として残るものの、アジアや中南米を中心に内需主導型の回復が進んでいる。

このような経済展望の中、カーボンブラック需要における主要需要先である自動車タイヤ需要について（一社）日本自動車タイヤ協会が、またゴム産業全体の新ゴム消費量について（一社）日本ゴム工業会が夫々2026年の需要見通しを公表した。

これらによると、自動車生産台数は前年比1.1%減、タイヤ本数ベース国内需要は同2.0%減と予想している。一方、新ゴム消費量は自動車タイヤ・チューブで前年比1.8%減、一般ゴムで1.6%増、ゴム産業全体では1.1%減と予想している。

当協会では、これら（一社）日本自動車タイヤ協会と（一社）日本ゴム工業会の需要見通しをベースに、カーボンブラック輸出入の状況等を織り込んで、2026年のカーボンブラック需要の見直し検討を行った。その結果、カーボンブラック総需要は前年比0.1%増の655,800トンと見込んだ。

なお、「需要見通しの指標」については添付資料の【表1】、「カーボンブラック需要見通し」については同【表2】、「輸入見通し」については同【表3】を夫々参照願う。

以上

【表1】 2026年 需要見通しの指標

	2024年実績		2025年実績見込み		2026年見通し	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
日本自動車タイヤ協会			2025年12月16日発表		2025年12月16日発表	
自動車生産 (千台)	8,235	91.5%	8,348	101.4%	8,253	98.9%
日本ゴム工業会	2025年4月14日発表		1月23日発表		1月23日発表	
タイヤゴム消費 (トン)	925,570	95.6%	940,380	101.6%	923,450	98.2%
一般ゴム消費 (トン)	231,330	94.9%	236,020	102.0%	239,850	101.6%
新ゴム消費量計 (トン)	1,156,900	95.4%	1,176,400	101.7%	1,163,300	98.9%
	JRMA2025年4月14日発表		JRMA1月23日発表		今回CB協会推定	
タイヤゴム消費 (トン)	925,570	95.6%	940,380	101.6%	932,850	99.2%
一般ゴム消費 (トン)	231,330	94.9%	236,020	102.0%	239,850	101.6%
新ゴム消費量計 (トン)	1,156,900	95.4%	1,176,400	101.7%	1,172,700	99.7%

【表2】 2026年カーボンブラック需要見通し

数量単位：トン

	2024年実績		2025年実績見込み		2026年見通し	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
タイヤ	423,911	95.6%	432,575	102.0%	429,100	99.2%
一般ゴム	131,858	94.9%	134,531	102.0%	136,700	101.6%
ゴム用計	555,769	95.4%	567,106	102.0%	565,800	99.8%
非ゴム	39,400	101.6%	40,265	102.2%	41,000	101.8%
内需計	595,169	95.8%	607,371	102.1%	606,800	99.9%
輸出	49,495	101.6%	47,890	96.8%	49,000	102.3%
[内ゴム用計]	12,400	97.5%	11,299	91.1%	12,000	106.2%
総需要	644,664	96.2%	655,261	101.6%	655,800	100.1%
[内ゴム用計]	568,169	95.5%	578,405	101.8%	577,800	99.9%

需要量はカーボンブラック協会による想定値

【表3】 2026年カーボンブラック輸入動向

数量単位：トン

	2024年実績		2025年実績見込み		2026年見通し	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
ゴム用	98,233	98.0%	109,669	111.6%	108,000	98.5%
非ゴム用	10,057	98.5%	11,887	118.2%	12,000	101.0%
合計	108,290	98.1%	121,556	112.3%	120,000	98.7%

ゴム用/非ゴム用の内訳はカーボンブラック協会想定値

以上